

渡辺信明展

watanabe nobuaki new paintings

1962年、滋賀県生まれ。1988年、京都市立芸術大学大学院美術研究科修了
1987年、ギャラリー16（京都）にて初個展を開催。以降、ギャラリーすずき
（京都）、ギャラリー白（大阪）、複眼ギャラリー（大阪）、ギャルリ・
プス（東京）、テンバ・Aギャラリー（大阪）等で個展を開催。主なグル
ープ展に1991年、現代美術'91—素材はいろいろ—（徳島県立近代美術館
・徳島）、次代を担う作家展（京都府立文化芸術会館・京都）にて優秀賞
を受賞。1992年、筆跡の誘惑—モネ、栖鳳から現代まで—（京都市美術館
・京都）。1994年、アート・ナウ'94—啓示と持続—（兵庫県立近代美術
館・兵庫）。1996年、VOCA展'96現代美術の展望（上野の森美術館・東京）。
1999年、風の芸術展（枕崎市文化資料センター・鹿児島）にて準大賞を受
賞。2001年、京展（京都市美術館・京都）にて京展賞、京都市美術館賞
（コレクション賞）を受賞。2003年、吉原治良賞展（大阪府立現代美術セ
ンター・大阪）にて優秀賞を受賞。2006年、京都市芸術新人賞受賞。
2007年、“ダイアログ”コレクション活用術vol.2（滋賀県立近代美術館）。
2008年、京都美術ビエンナーレ（京都府立文化博物館・京都）等多数出品。
現在、京都市立芸術大学教授。

遠くと近くを行き来する私の絵画という場で、
“FILAMENT”（フィラメント）という言葉に
出会った瞬間であった。

それは空の裂け目であり、
放電する稲妻であり、
そして圧倒的なモノである。

夕暮れの空に、
取り残されたいくつかの柿の実が吊り下がる。
細枝はあたかも抵抗体となって、
見たこともない光を放ち始めた。

FILAMENT

恵風
GALLERY KEI-FU

2017